

福沢諭吉著「文明論之概略」岩波文庫 1995年3月16日刊を読む

自国の独立を論ず

1. けだしかくの如く議論を限るときは、国の独立は即ち文明なり。
2. 文明にあらざれば独立は保つべからず。
3. 独立というも文明というも、共に区別なきが如くなれども、独立の文字を^{もちう}用れば、事の想像に一層の限界を^{あきらか}明にして、了解を^{やす}易くするの便あり。
4. ただ文明とのみいうときは、あるいは自国の独立と文明とに関係せずして、文明なるものあり。
5. ^{はなはだ}甚しきは自国の独立と文明とを害して、なお文明に似たるものあり。

[コメント]

大不況の中であってこそ、一国の独立とは何か、一国の文明とは何かを考えることが大事。

- 2009年3月1日林明夫記 -